

令和6年第1回長泉町議会定例会 一般質問予定者一覧

令和6年3月6日(水)午前10時開議

日程第1. 一般質問

質問順位1 石川 美穂 議員

質 問 内 容

1. 誰もが住みやすく健やかに過ごせるための施策を

(1) 新型コロナウイルスが季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ接種費用が自己負担となるが、町の対応は。

- ①令和6年4月1日以降、65歳以上の方や60歳～64歳で重症化リスクの高い方は定期接種となるが、自己負担や接種体制、また、今後のスケジュールを伺う。
- ②がんばる中学生応援事業として中学3年生を対象としたインフルエンザワクチン接種に対し補助をしているが、新型コロナウイルスワクチン接種にも補助の考えはあるか伺う。

(2) 多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実を。

- ①第3次長泉町スポーツ推進計画の策定において新たに加えられた内容はどのようなものか伺う。
- ②子どもから高齢者、障がいを持つ方など誰もが楽しめる自由参加型の「カラダフェスタ」とはどのようなものなのか、その考えと取組を伺う。
- ③「カラダフェスタ」にスケボーやBMXなどのアーバンスポーツや、ニュースポーツと呼ばれるポッチャやモルックなどを取り入れる考えはあるか伺う。
- ④今後、定期的に実施されるか考えを伺う。

(3) 公園施設の整備拡充でさらに利用しやすい公園づくりを。

- ①鮎壺公園交流施設内に紙おむつやおしりふきなどを販売する子育て支援自動販売機導入の考えはあるか伺う。
- ②公園の砂場における砂補充など管理について伺う。
- ③時計設置済の公園は7か所。児童が時間を把握し帰宅時間など自己判断ができるよう時計の設置が必要と考えるが見解を伺う。

(4) 母子保健と児童福祉の連携によるこども家庭センター設置の考えは。

- ①令和6年4月から法改正され、母子保健と児童福祉の一体型支援体制の充実としてこども家庭センターの設置が努力義務化されるが、こども家庭センター設置について町の見解は。
- ②母子保健と児童福祉の両機関の連携体制の当町の現状は。
- ③こども家庭センターを設置し、センター長や統括支援員を配置する考えはあるか伺う。
- ④気軽に相談しやすい環境になるようオンライン相談窓口システムの導入が必要と考えるが町の見解を伺う。

質 問 内 容

1. 子育ての町から、子育て、教育の町に

- (1) 新年度に各学校の想定される入学者数と直近の推移は。また4月以降の入学者が学校生活に早期順応できる対応や、保護者への説明は。
- (2) 勤労意欲向上を目的として、地元企業を活かしたキャリア教育の充実を図り、地域で子どもの教育に関わり、子どもの頃から地元へ愛着を持たせる機会を与える職業体験の拡充を。
- (3) 資産形成が大きく変わっている現状を踏まえ、既に行っている租税教育に加え、小学校から金融関連機関や金融団体による金融教育を取り入れたらどうか。
- (4) 地元の国立高等専門学校と連携し、プログラミングなどの授業を。
- (5) 長く続いている小学校6年生の落語を聴く会を今後も続けていくことは、伝統芸能に触れる良い機会であるので、是非続けるべきと考える。
- (6) 特別支援学級の学級編成基準1学級8名を6名に。
- (7) 不登校対策だけでなく、教諭のメンタル面や保護者にも助言や指導ができるスクールカウンセラーを各学校に1人常駐を。

質 問 内 容

1. 南海トラフ巨大地震に向けた町の準備や備えは

(1) 町の上水道について

- ①過去の地震で上水道の水源の被害の実例があったのか伺う。
- ②巨大地震を想定した場合の、水源の地震対策は。
- ③浄水場などの水道施設の耐震対策を進めるべきと提案するがいかがか。
- ④今後の管路の耐震化に向けての考えは。
- ⑤当町職員が能登半島へ応急給水の災害派遣に行った。その内容を伺う。

(2) 町の下水道について

- ①今後の下水道の地震対策はどうか伺う。

(3) 災害用トイレの課題について

- ①各避難所を含め、仮設トイレなどの備蓄はどうか。
- ②マンホールトイレが避難所に整備された。整備状況を伺う。
- ③健康公園は災害時に防災上の位置付けはどうなのかを伺う。
- ④災害対策本部は防災センターに設置されるが、長期化は否めない。マンホールトイレの設置は必要だと提案するが、いかがか。
- ⑤災害時の町の救護病院について伺う。

質 問 内 容

1. 地域主導で自立型のまちづくりを

(1) 町民の快適で安心な生活に関わるまちづくりを。

- ① 児童・生徒や高齢者が主に利用する公共交通の充実を。
- ② 重層的支援体制整備事業で横断的な連携を行い、コミュニティの形成を。

(2) 『町民参加型』から『町民協働型』のまちづくりを。

① 電子図書館の開設で新たなまちづくりを。

- ・ 地域コミュニティを想定した鮎壺公園他各施設の明確な利用イメージを。
- ・ 区との関わりの中で、電子図書館を公民館の有効利用で。
- ・ 自治体で本をつくり、昔話や町にある仕事などの絵本や、町のテキストを。
- ・ 読み聞かせ絵本など、英語や外国語電子図書の充実を。
- ・ 電子図書の冊数充実と、利用者数増に向けた周知の徹底を。

② 自治体自らインキュベーション・オフィスとして、インターメディアリーを設置し、コミュニティ・ビジネスの育成を。

- ・ 雇用開発トレーニング、企業相談、地域のニーズとシーズのマッチング、資金の仲介、仕事の仲介、自治体と企業の調整など地域コミュニティをベースとした顔の見える関係の中でNPO的な事業の促進を。
- ・ コミュニティ・ビジネスの展開に向け、コミュニティボランティアの育成を。
- ・ ガバメントクラウドファンディングで取り組んでいるはじめてのマイ箸プロジェクトの継続発展と、他に檜材を利用した製品を作り出すコミュニティの取組を。
- ・ 住民税の1%を納税者がインターメディアリーを介して、事前に登録したボランティア団体、NPO事業などに投資する支援制度を設けるなど、納税者（町民）の『選択制』『市場性』の向上を目的とした取組を。

質 問 内 容

1. 住みやすい町をめざして

(1) 学校教育の充実について

①学級担任の「受け持ち授業時数」の負担軽減について

ア 小学校4年生以上を受け持つ学級担任における年間の授業時数と週当たりの空き時間数の現状はどうなっているのか。

イ 小学校における教科担任制(理科、音楽)を更に進めていくべきではないか。

ウ 静岡市では「学校における働き方改革新プラン」を作成して、職員の働き方改革を進めている。教育課程の見直し、事務業務の軽減などの働き方改革の取組状況はどのようになっているか。

エ 学力調査を見直すべきと考えているが、効果があると評価しているのか。

(2) 保育教育の充実について

①医療的ケア児への対応について

ア 医療的ケア児の保育園の入園について、本町での受け入れ状況を伺う。

イ 訪問型の病児保育の実施について

大阪府堺市は、施設型に加えて訪問型の病児保育を実施している。広島県福山市は、昨年10～11月に訪問型病児保育の実証実験を実施している。本町においても実証実験でニーズや利用状況を確認し、町民サービスへつなげてはどうか。

②75年ぶりに職員定数が改善される。来年度の職員の確保はいかがか。

(3) 動物と共生するまちづくりについて

①ペットと暮らすシニアの備えサポートについて

高齢者とペットの問題は、飼い主の入院などでペットが取り残されてしまうなど、様々な問題を抱えている。高齢者のペット飼育の現状を把握し、担当部局を越えて連携を図り、高齢者が安心して暮らせる環境を整えるべきだと考えるが、町の見解を伺う。

②災害時の人とペットの同行避難について

近年の温暖化による豪雨災害の頻発を受け、災害避難所における具体的対応マニュアルが作成されている。災害時は人命が最優先であるが、ペットも家族の一員として必ず同行避難者がいる。動物愛護の観点から、また、被災者の心のケアの観点から、対策と見解を伺う。

③災害時の動物救護施設としての動物センターについて

災害時、飼い主からの一時預かりや、保護・収容した負傷動物や放浪動物が発生した場合、飼養管理する施設、動物センターが必要になり対応することになる。東日本大震災、熊本地震の際に大きな課題となった経緯から、本町の現状と対策について伺う。

質 問 内 容

1. 施政方針について

(1) 農業分野

農業法人誘致の促進について言及しているが、先日静岡新聞に「長泉町 農業法人誘致へ」という見出しでインターチェンジ付近の構想が示された。農業は成長産業と捉え、新たなアグリビジネスとして、スマート農業、植物工場、アグリツーリズム等が展開されつつある中でどのような構想を描いているのか。

(2) ふるさと納税

新たに彫刻家の作品を返礼品に採用とある。ふるさと納税制度は本来の趣旨からかけ離れ、過度な返礼品競争となっており結果として税金の無駄遣いとなっている面も否めない。町のふるさと納税に対する考え方を再度確認する。

2. 教育方針について

(1) 教育方針の重点施策は過去のものほとんど変化なし。課題が見える化しないと有効な対策が打てない。当町の教育の優れている点、課題、それに対する対策は。

(2) 教員の働き方改革にも関する事項

- ①文部科学省より、教員の負担軽減のため、コマ数を把握したうえで見直すよう要請があるが当町の対応は。また、1コマの授業時間の短縮に取り組む例が出てきているが当町の検討状況は。
- ②部活動の地域移行コーディネーターの設置とあるが、どのような方向性を想定しているのか。

(3) 電子図書館導入の経緯、理由は。

図書館を利用しづらい障がい者に配慮を。

(4) 「社会に開かれた教育課程」「地域と共にある学校づくり」の具体的な施策は。

質 問 内 容

1. 孤独孤立対策推進法施行の対応は

- (1) 町は孤独・孤立状態にある方を把握しているのか、また、「地域対策協議会」の設置を含めた対応策を考えているのか伺う。
- (2) 「仕事」は、生活の安定と社会とのつながりを保つ大切な柱である。1人1人の事情に応じたきめ細やかな就労支援も必要とされる。町の対応を伺う。

2. 単身高齢者への支援策は

- (1) 職を失い家賃の支払いが難しい場合に支給される「住宅確保給付金」の対象者の拡大と、就職活動を行ってなくても、住宅の転居費用を補助できるようにすることが求められている。町の対応を伺う。
- (2) 家賃の負担が軽減されれば、経済的な事情で住居を失うリスクを回避でき、日常生活の安定につながる。生活困窮者自立支援法の改正案では更に、生活困窮者を対象にした自治体の「自立相談支援事業」に住まいに関する相談機能を加えることとし、入居時から退去時までの見守り支援についても、市町の努力義務となった。町の対応を伺う。
- (3) 今後重要となるのが、自治体を中心とした地域の担い手が協力して居住支援を行う体制の構築である。すでに都道府県と不動産業者、NPO法人などが連携する居住支援協議会が設置されているが、市区町村での設置は5%に留まっている。神奈川県座間市や福岡県大牟田市では、同協議会が核となり、地域の担い手が役割を補完しながら支援を行っている。困り事の相談から転居後の支援まで、切れ目なく支えるセーフティネットが構築されている。今後の町の対応を伺う。

3. 小中学校でのがん教育講師に医師や経験者を

- (1) 当町における「がん教育」の現状を伺う。
- (2) 内容の充実には専門知識を持つ医師や、実体験に基づいた話ができるがん患者・経験者などの外部講師の活用が重要になる。小中学校における「がん教育」での外部講師活用の見解を伺う。

質 問 内 容

1. 長泉町職員募集の変更点の意図は

- (1) 従来の公務員試験（一般教養や専門試験等）は、職員採用にとって必須ではないのか。
- (2) 民間の企業で使われているSPI（総合適性検査）を導入し、更には、採用内定時期を8月へ前倒しする意図は。
- (3) 全体のスケジュール感も含め、学生等に対して、十分な周知を行うよう丁寧な対応を。

2. 施政方針について

- (1) 生活支援サービスや介護予防に資する移動支援として、地域住民の主体的な活動を後押しするため、新たなサービスの創出を目指し、補助制度を創設するとあるが、町がイメージあるいは期待している取組とは。
- (2) 旧ヴァンジ彫刻庭園美術館跡地の活用に向けた着実な対応を。
 - ① 県が示している「クレマチスの丘広域的活用構想」とは。また、それに対する町の受け止めは。
 - ② 近隣市町との協議の状況や連携の見込みは。また、町が期待することは何か。
 - ③ 昨年12月の県議会で、旧ヴァンジ彫刻庭園美術館跡地に関する補正予算が審議され、可決されている。このことを踏まえ、長泉町は立地自治体として財政出動も含め、積極的な姿勢を示すべきではないか。町の見解は。
- (3) 第5次長泉町総合計画後期基本計画の策定に向けて
 - ① 「今までの右肩上がり必然といったまちづくりではない」という認識の背景は。
 - ② 今後、公共施設の老朽化に伴う更新には、多額の費用が掛かることが想定される。今後の町の将来計画を左右するような事業推進に当たっては、短期的な視点ではなく、中長期的な視点で財政計画をシミュレーションし、千載一遇のチャンスを逃すことのないよう積極的な財政出動を検討・決断するなど、町の将来を見据えた適切な対応を。